

授業科目	看護情報活用論	4 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	山本 武志 (保健医療学研究棟 E311 号) e-mail : t-yamamoto@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	看護に関わる情報は、医療サービス提供の実態を俯瞰するうえで重要であり、医療・看護の質向上や、効率的な看護業務の推進に役立てることができる。本科目では、第1に、医療現場において医療・看護情報がどのように活用されているかを実践例を通じて理解することを目的とする。第2に、EBP (Evidence based practice) の理論、方法論を体系的に学び、医療・看護の質を向上させるためのエビデンス収集から現場において EBP を実装するプロセスを体験する。		
到達目標	1. 看護実践における情報管理の重要性、情報活用の可能性について理解し、述べることができる。 2. エビデンスを収集する手順、考え方を説明できる。 3. EBP を実装するための戦略、具体的方法を学び、述べることができる。		
関連科目	疫学、保健統計学		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	提出物	100%	提出物は、講義時間内の個人ワーク、グループワークにおいて作成・提出されたものを評価する。
教科書	指定なし		
参考書	アイオワ大学病院看護研究・EBP・質改善部門 [2018] 「看護実践の質を改善するための EBP ガイドブック」 ミネルヴァ書房		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション EBP プロセスの学習 (1) EBP 演習 (1) : 課題設定	事後 : 課題について調べる	講義・演習	山本
2	EBP プロセスの学習 (2) EBP 演習 (2) : 文献検索	事前 : 課題について調べる 事後 : 課題について調べる	〃	〃
3	EBP プロセスの学習 (3) EBP 演習 (3) : 文献検索・資料整理	事前 : 課題について調べる 事後 : 課題について調べる	演習	〃
4	EBP 演習 (4) : 資料整理・エビデンスの解釈	事前 : 課題について調べる 事後 : 課題について調べる	〃	〃
5	EBP 演習 (5) : 資料整理・エビデンスの解釈	事前 : 課題について調べる 事後 : 課題について調べる	〃	〃
6	情報活用の実際 (1) : ICT	事後 : 配付資料の通読	講義	(未定)
7	情報活用の実際 (2) : 在宅診療	事後 : 配付資料の通読	〃	〃
8	報告会	事前 : 報告の準備	演習	〃